

使用上の注意！

▲ピンロックシートは、含有する水分量によって伸縮します。雨天使用後や保管状況によっては取り付けピンが緩んでピンロックシートがガタガタと動いてしまう場合があります。ピンの偏心機能は、この伸縮に対応するものですが、ピンロックシートのピンとの接点が伸縮によって緩んだ状態のまま使用すると、転倒などで衝撃を受けた際にピンロックシートがMVシールドより外れるおそれがあります。ご使用前には必ずピンロックシートを確認し、ガタつきの無い状態でご使用ください。尚、偏心ピンの調節範囲を超えてしまった場合は使用限界とご理解頂き、新しいピンロックシートにお買い換えください。

▲ピンロックシートは、決してメンテナンスフリーなわけでは**ありません**。ピンロックシート付きのヘルメットを使用しない場合は、ピンロックシート左右の取り付け用ピンを緩めるか、シールドから一旦外してパッケージ内に収納してください。

▲ピンロックシートの表面は非常にデリケートなので、取り扱いにはご注意ください。

▲MVシールド内に水が浸入した場合は、ピンロックシートをMVシールドから一旦外し、十分に自然乾燥させてから取り付けてください。また、雨天時には水の浸入を防ぐため、MVシールドを可能な限り閉めてご使用ください。ただし、視界の確保に必要な状況では、この限りではありません。

▲プロシールドシステムにピンロックシートを取り付ける際には、必ずシールドからサンバイザーを取り外してから行なってください。

ピンがゆるんで、ピンロックシートがガタガタ動いたら！左右のピンを回転（偏心）させ、ピンロックシートの縁のシリコンゴムがシールド内面に密着するように再度調節します。尚、調節範囲を超えてしまう場合は使用限界とご理解頂き、新しいピンロックシートにお買い換えください。MVシールドを長期間使用しない場合は、ピンを緩めておくことでピンロックシートへの負担（応力）を軽減できます。

二重構造シールドについて

ピンロックシートを取り付けたシールドは二重構造という性質上、夜間走行時に対向車のライト等が二重に見える場合があります。尚、二重構造シールドは高い防曇効果を発揮しますが、気象条件や湿度等により防曇効果が著しく低下する場合があります。この事を充分にご理解頂きご使用ください。

株式会社アライヘルメット

〒330-0841 埼玉県さいたま市大宮区東町2-12

☎048-641-3825

このたびはアライ製品をお買い求めいただき、
まことにありがとうございます。

VAS-A MV ピンロック[®]120 取扱説明書

ご使用になる前に、本書を必ずお読みください

本書は、使用方法、お手入れの方法、使用上の注意を説明しています。正しくご使用していただくため、本書を最後までよくお読みください。また、本書はいつでも読み返せるよう、大切に保管してください。

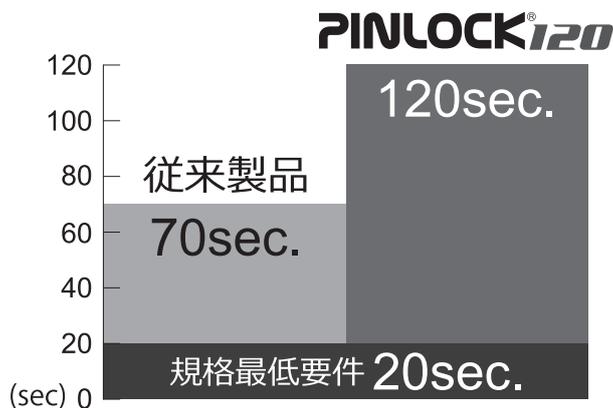
先ずご確認ください

ピンロックシートを取り付けるための左右のピンのスロープが、お互いにシールドの中央に向いていることをご確認ください。もし中央に向いていない場合は、ピンの内と外を指でつまんで回転させます。ピンが回しにくい場合は、裏ページ右下の「対処法」をご覧ください。



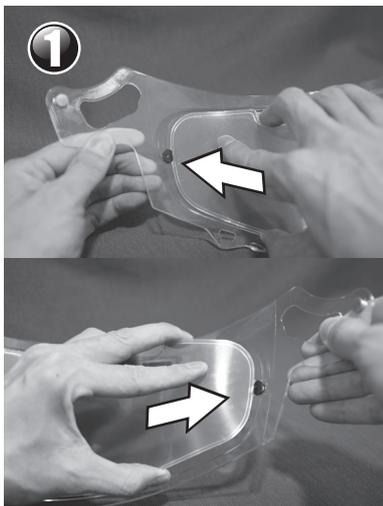
当製品は、ECE R22-05規格のテストにおいて、従来製品と比べて防曇性能が約1.7倍※に向上しています。※製造メーカーの提供データによる参考値

テスト方法：50℃の飽和水蒸気中（水蒸気が最大限まで空気中に溶け込んでいる状態）にテストサンプルをセットし、正面からレーザーを照射。そして、テストサンプルを透過したレーザーをセンサーで捉えます。レーザーの透過率が、テスト開始時の値から80%にまで低下する秒数をカウント。測定時間が長いほど、防曇性能は高いと評価される。



ピンロックシートの付け方

①まずは、シールドの片方のピンロックシート取り付け用ピンにピンロックシートの端をはめ込んでください。
※ピンロックシートはシリコンゴムの縁取りをシールド側に向けます。

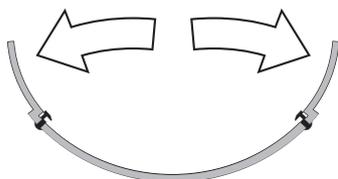


ピンロックシートの反対側をはめ込む際は、シールドを少し広げながら行います。そして、ピンロックシートの端を下に湾曲させながらシールドにはめ込みます。
※シールドは極端に広げないでください。

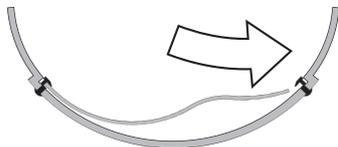
上から見たシールド



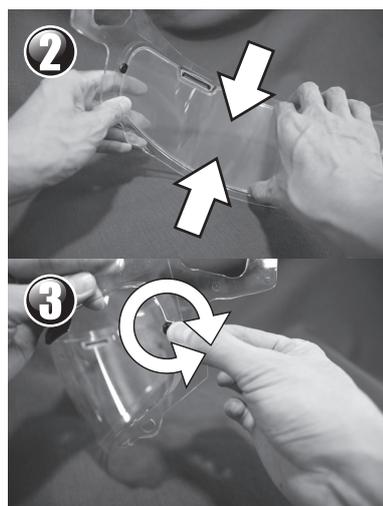
シールドを広げる



シートをピンに差し込む



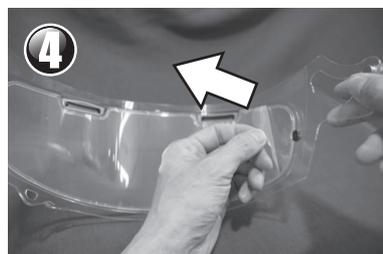
②シールド内面の凹みにピンロックシートがピッタリ収まるように位置を調節します。



③ピンロックシートのがたつきを取り除き、シリコンゴム全周がシールド面に密着するように調節行います。調節方法は、シールド左右に設けられたピンロックシート取り付け用ピンの内と外を指でつまんで回転させて行います。ピンの軸は偏心しているので、回転させることでピン自体の位置が変化します。

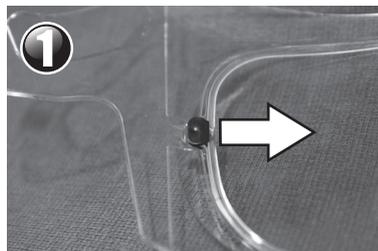
※特にながたつき等が見られない場合は、下の説明④に進みます。

④最後に、ピンロックシートの保護シートを剥がしてください。



ピンロックシートの外し方

①ピンロックシートを保持している、シールド左右のピンのスロープがシールド中央に向くように指で回します。

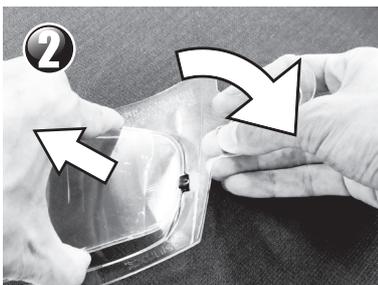


Image

ピンロックシートの位置決めピンどうしの間隔が最大となります。



②取り付ける時同様、シールドを少し広げてピンロックシートの端をつかんで取り外します。



ピンロックシートの表面には触れない事。



ピンロックシートのお手入れ方法

■ピンロックシートお手入れは、シールドから一旦取り外してから行ってください。

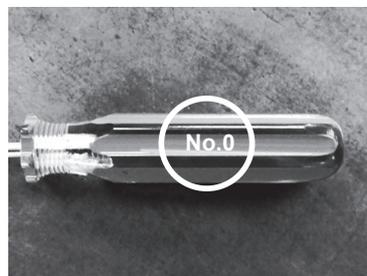
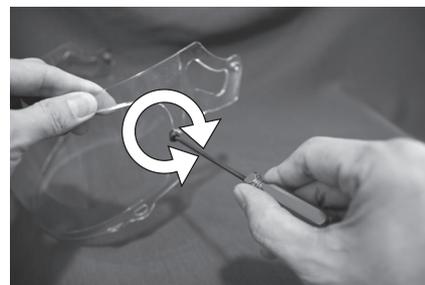
ピンロックシートは構造上、流水でザブザブ洗うことができません。お手入れの際には食器洗い用中性洗剤を水で5~6倍に薄めた溶液を市販のスプレーボトルに入れ、汚れた部分に薄く噴霧して、汚れが浮き上がったらぬるま湯に浸した柔らかい布で拭き取ってください。その後、十分に自然乾燥させてからシールドに取り付けてください。

※ピンロックシートを乾燥させる際、ドライヤー等で熱を加えると変形するおそれがあります。絶対に使用しないでください。

ピンが指で回せない時の対処法

シールド外側のピン頭部の十字穴を0番 (No.0/ #0) のプラスドライバーで回転させてください。

※ドライバー使用時は、ピン側に強く押し付けしないでください。また、シールドを傷付けないように十分ご注意ください。



ドライバーの握りや軸に、No.0・No.1・No.2・No.3、#0・#1・#2・#3などの番号が入っていて、これがドライバーのサイズ表示となります。

